

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-2	中学校	音楽	一般	第2・3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 803, 804	中学生の音楽2・3上, 中学生の音楽2・3下		

1. 編修の基本方針

編修の趣旨

私たちは音楽科の学習を通して、生徒に「このような資質・能力を育みたい」と願いました。

- 音楽を通して社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力。
- 音楽の幅広い知識や技能。
- 主体的・対話的で深い学びの実現によって得られる、汎用性の高い学力。

こうした課題に取り組むために、次のようなことに留意して編修いたしました。

3つの 基本方針

基本方針

1

音楽で生活を豊かにする心を育みます。

音楽で社会や身の周りの人々につながる学びを促します。



基本方針

2

音楽科の確かな学力を育みます。

質の高い教材と、的確な学び方の提示によって確かな学びを支えます。



基本方針

3

主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促します。

課題意識をもって、友達と対話、協働しながら学習することで、学びの質を深めます。



音楽で生活を豊かにする心を育みます。 音楽で社会や身の回りの人々とつながる学びを促します。

1 地域に伝わる芸能を身近に感じる学習を促します。



(下巻 p.54・55)

2 音楽が生活や社会に役立つ場面を実感する学習を促します。



(上巻 p.72)

(下巻 p.68・69)

3 「今」というかけがえのない時間に気づくことで、個人の価値や生命の尊さを学びます。



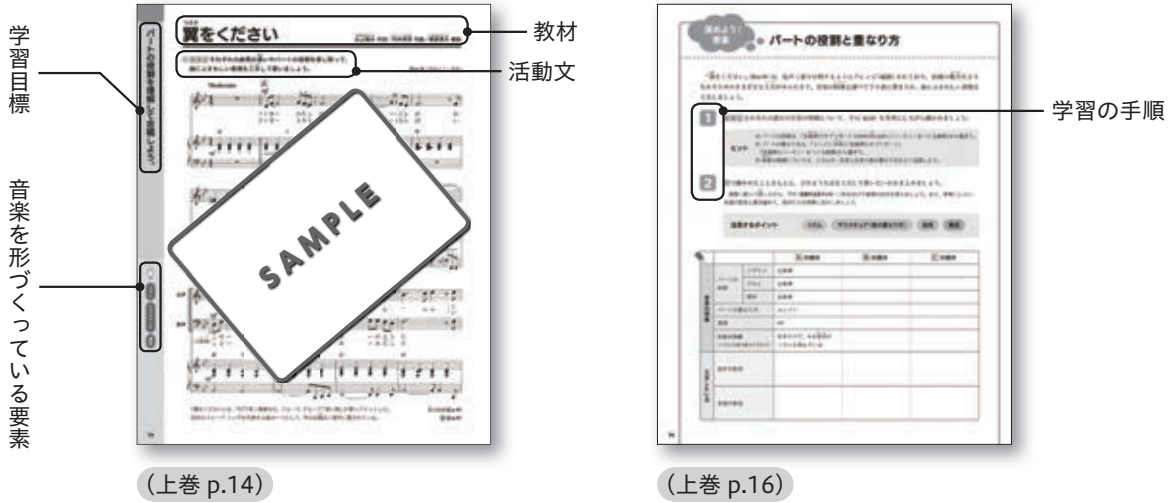
(上巻 p.2・3)

音楽科の確かな学力を育みます。

質の高い教材と、的確な学び方の提示によって確かな学びを支えます。

1 学習目標の実現に適した教材と的確な活動文が、学習を支えます。

学習のねらいや活動の手順を分かりやすく示しています。



(上巻 p.14)

(上巻 p.16)

2 見やすく、スッキリとした紙面がスムーズな学習を実現します。

インクルーシブ教育の実現を目指し、特別支援教育や色覚特性の多様性などの観点から、基本的に白を基調とした紙面とし、情報の配置にも配慮しました。



(上巻 p.30・31)

3 見通しをもった学びを実現します。

目次の後に、1年間の学びを俯瞰できるページを掲載しました。



(下巻 p.8・9)

(上巻 p.8・9)

主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促します。
課題意識をもって、友達と対話、協働しながら学習することで、学びの質を深めます。

1 充実した資料で主体的な学びを引き出します。



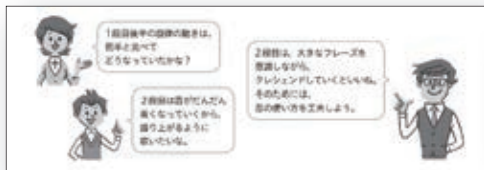
(下巻 p.2・3) 「春に」(p.82)の作詞者、作曲者の対談。



(下巻 p.4・5)

2 主体的で対話的な学びを軸に学習を進めます。

音楽科の学習は従来から「主体的・対話的」な要素を多く含んでいます。この特性を活かし、「主体的・対話的で深い学び」により迫ることができるように工夫しました。



(上巻 p.29)



(下巻 p.33)

考える観点を例示しながら、主体的で対話的な学びを引き出します。

特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識を高められるページを、すぐに開くことができる最終ページに設けました。

(上巻 p.98・99)

(下巻 p.98・99)



国歌「君が代」がどのような場面で歌われるのかを例示しています。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭口絵	松任谷由実氏のメッセージや作品 (p.74) に触れることで、「今」という時間に気づき、個人の価値や生命の尊さを学ぶことができました。さらに、「音楽ってなんだろう？」では、音楽は時間とともにある芸術であることを学び、前ページの学習をより深められるようにしました。(第一号, 第二号, 第四号)	上巻 p.2 ~ 5 (p.74・75)
	合唱曲「春に」(p.82) や、作者である谷川俊太郎氏と木下牧子氏による創作の背景に触れることで、真理を求める姿勢や豊かな情操、作品を生み出す創造性に対する憧れの気持ちを養えるようにしました。さらに、「音楽ってなんだろう？」では、音楽は人間のさまざまな感情を表現する芸術であることを学び、前ページの学習をより深められるようにしました。(第一号, 第二号, 第四号)	下巻 p.2 ~ 5 (p.82 ~ 85)
歌唱教材	未来への希望をもつ内容の歌を通して、自らの能力を伸ばす態度を養えるようにしました。(第二号)	上巻 p.10・11, 14・15
	歌を通して我が国の美しい自然に対する思いを高められる教材と学習活動を設定しました。(第四号)	上巻 p.18 ~ 23 下巻 p.10 ~ 15, p.20 ~ 22
	パートの役割を知り、各パートの役割をそれぞれが担うことを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができました。(第三号)	上巻 p.14 ~ 16 下巻 p.23
	我が国の伝統的な唄を歌唱教材として取り上げ、我が国の伝統的な歌唱の学習を確実に進められるように配慮しました。(第五号)	上巻 p.60・61, 66 下巻 p.48・49
	英語の学習と関連付けられるように、英語で歌う教材を含めました。(第一号)	上巻 p.32・33 下巻 p.28・29
創作教材 (My Melody/ Let's Create!)	歌詞や和声進行に着目して旋律をつくる活動によって、創造性を培えるようにしました。(第二号)	上巻 p.36・37 下巻 p.30・31
	声や体を使って出す音を使いながら、反復や変化などを用いて音楽を構成する学習活動を通して、創造性を培えるようにしました。(第二号)	上巻 p.38・39 下巻 p.32・33
	創作におけるグループ活動の中で、協働しながら学習を進められるような教材を含めました。(第三号)	上巻 p.38・39 下巻 p.32・33
鑑賞教材	我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽文化や郷土の音楽を、明確な学習の観点のもとに学習できるように示しました。(第五号)	上巻 p.56 ~ 69 下巻 p.42 ~ 55
	他国を尊重する態度を育成するために、諸外国の伝統的な音楽を教材として取り上げました。(第五号)	上巻 p.70・71 下巻 p.56・57
その他の教材	簡単な音符や休符を使ったリズムの読み書きを確実に習得できるような教材を含めました。(第一号)	上巻 p.12・13
特集	音楽が生活や社会の中で果たしている役割に気付く学習活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第三号)	上巻 p.72 下巻 p.68・69
歌い継ごう 日本の歌	他者を尊重し、季節や自然、故郷を大切に思う心を育てることのできる教材を取り上げました。(第三号, 第四号, 第五号)	上巻 p.74 ~ 79 下巻 p.70 ~ 73
	我が国で長く歌い継がれている歌を通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	上巻 p.74 ~ 79 下巻 p.70 ~ 73
心通う合唱	他者を尊重し、自然を愛する心を育てることのできる教材や、道徳的観点と関連付けられる教材を取り上げました。(第一号, 第三号及び第四号)	上巻 p.80 ~ 94 下巻 p.74 ~ 88
国歌「君が代」	国歌「君が代」と同じく、他国の国歌をも尊重することを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第五号)	上下巻 p.98・99

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-2	中学校	音楽	一般	第2・3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 803, 804	中学生の音楽2・3上, 中学生の音楽2・3下		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習の流れを見通しながら、主体的・対話的で深い学びを引き出します。

学習の手順を番号で示し、各段階で考えることを吹き出し等で示すなど、流れを分かりやすくしています。

学習の手順

それぞれが意見を出し合いながら交換する様子を示す吹き出しによって、主体的・対話的で深い学びへのアプローチができます。

(上巻 p.16・17)

2 我が国の伝統文化のよさに触れることができます。

我が国の伝統文化や身近にある伝統的な芸能に親しみ、愛着をもつことができます。

(上巻 p.56・57)

(上巻 p.68)

3 社会に開かれた音楽の営みを実感できます。

生活や社会に音楽がどのように役立っているのかを知ることを通して、社会に開かれた音楽の営みを実感することができます。

音楽教育とSDGs(エス ディー ジーズ)

日本では多くの人々が「青年海外協力隊員」や支援団体のスタッフとして海外に渡り、さまざまな分野の教育に携わりながら、現地の教育環境の改善に貢献しています。中でも音楽教育は人々の心を豊かにし、相互の思いを共有するという意味で重要な役割を果たしています。

現在、世界各国や国内の自治体などで、SDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)と呼ばれる取り組みが行われています。これは2030年までに全世界共通に達成すべき目標をさまざまな視点から掲げたもので、その一つに「質の高い教育をみんなに」というものがあります。

上に挙げたような音楽教育の営みも、「世界各地の人々に質の高い音楽教育を提供する」というSDGsの考え方を反映したものであるでしょう。



ヨルダンのメレスナ難民キャンプの人々に鍵盤ハーモニカを教える青年海外協力隊員。(写真：久野真一/JICA)



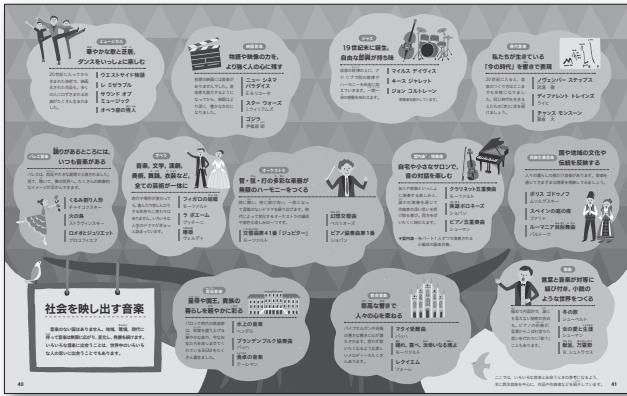
モザンビークの人々にリコーダーを中心とした合奏を教える青年海外協力隊員。(写真：谷本美加/JICA)



(下巻 p.68・69)

4 生涯にわたって音楽文化に親しむ態度を育みます。

いろいろな音楽との出会いの機会を広げられるよう、さまざまなジャンルの代表的な作品や作曲者を紹介しています。

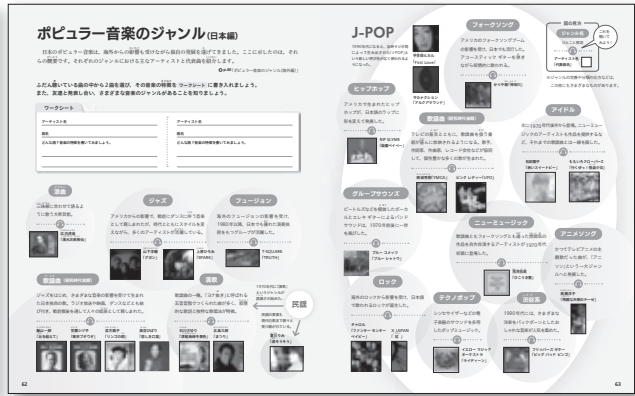


社会を映し出す音楽

音楽は、時代や社会の状況、人々の感情を映し出す鏡のような存在です。この図は、さまざまな音楽ジャンルがどのように社会と結びついているかを示しています。

- クラシック音楽**: 宮廷や貴族の文化を反映し、市民権の拡大に伴って市民音楽として発展しました。
- ジャズ**: アフリカ系とヨーロッパ系文化の融合から生まれ、都市文化や社会問題と深く結びついています。
- フォークソング**: 労働者階級や移民の生活と結びつき、社会正義や抗議の声を代弁してきました。
- ロック**: 若者の反叛精神や社会批判を表現する手段として発展しました。
- ポップス**: 大衆文化の中心となり、商業主義と大衆の嗜好を反映しています。
- 現代音楽**: 伝統的な音楽の枠組みを打破し、新しい表現形式を探求しています。

(下巻 p.40・41)



ポピュラー音楽のジャンル(日本編)

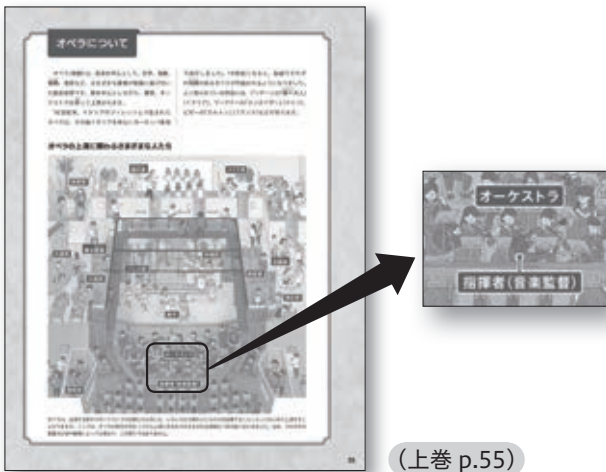
日本のポピュラー音楽は、戦後から発展してきた多様なジャンルの集合体です。ここでは、その特徴や代表曲、作曲家について紹介します。

- J-POP**: 1970年代後半から1980年代前半にかけて、独自のサウンドと歌詞で国際的な人気を博しました。
- ロック**: 1960年代後半から1970年代にかけて、若者の反叛精神を表現する手段として発展しました。
- フォークソング**: 1960年代後半から1970年代にかけて、社会正義や抗議の声を代弁する手段として発展しました。
- ジャズ**: 1920年代から1930年代にかけて、アフリカ系とヨーロッパ系文化の融合から生まれ、都市文化と結びついています。
- クラシック**: 19世紀後半から20世紀にかけて、市民権の拡大に伴って市民音楽として発展しました。

(下巻 p.62・63)

5 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点を反映しています。

写真やイラストの上の文字については、デザイン性を考慮しつつ、文字の見やすさにも配慮しました。



オペラについて

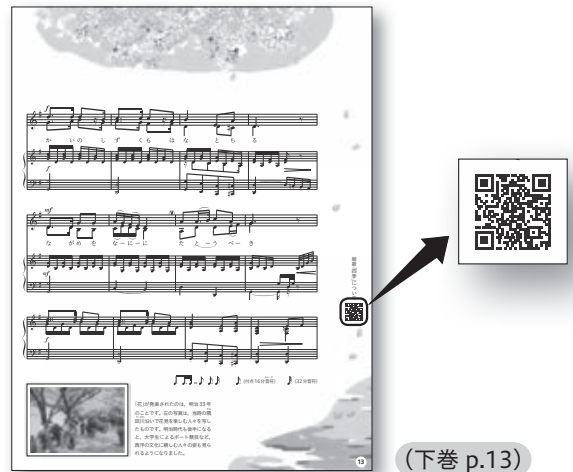
オペラは、音楽、演技、美術、舞臺美術の総合芸術です。この図は、オペラの歴史や特徴について詳しく説明しています。

このページのデザインは、視覚的に魅力的な写真やイラストを使用しながら、重要な情報を効果的に伝えるように工夫されています。

(上巻 p.55)

6 ICT機器の活用への対応も考慮しています。

学習をサポートする参考資料を、紙面上の二次元コードを読み取ることによって閲覧できるようにしました。



オーケストラ

指揮者(音楽監督)

このページの下部には、オーケストラの演奏風景が紹介されています。また、右下にはQRコードが配置されており、スマートフォンなどで読み取ると関連するデジタルコンテンツにアクセスできます。

(下巻 p.13)

7 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①音楽を愛好し、自らの生活に生かす心を育む。 ②音楽科の確かな学力を育む。 ③主体的・対話的に学習に取り組む態度を育てる。
	学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容項目は漏れなくおさえました。
内容	系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●学年を通して、学習指導要領の内容に示された学習が段階的に進められるように、また上下の学年の学習とのつながりがスムーズになるように教材を選択・配列しています。
	配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●学習がスムーズに行えるように学習目標及び教材を配列し、学習内容の分量も適切になるように配慮しました。
	学習意欲・主体性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●目次とは別に、歌唱、創作、鑑賞の2領域3分野について、1年間の学びを俯瞰できるページを配置しました。(上下巻 p.8・9)
	歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の声域や変声期などの心身の発達段階を考慮して、音域や難易度を吟味しました。
	創作教材	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで生徒の思考の例を明示することによって、生徒の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> ●鑑賞教材は生徒の発達段階と題材のねらいに合ったものを選択し、学習を進めるうえで有益な写真や譜例、資料などを合わせて示しました。
	(共通事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●学習目標の下には、その教材を指導する際の目安となる、[共通事項]に示された音楽を形づくっている要素を表示しました。(上巻 p.10～71, 下巻 p.12～59)
	主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しています。(上巻 p.16, 22・23, 29, 33, 36・37, 38・39, 下巻 p.30・31, 32・33)
	伝統文化の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国の伝統的な音楽に親しみながら、それらのよさを感じ取り、愛着をもつことができるようにしました。(上巻 p.56～69, 下巻 p.42～55)
	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解教育や外国語の学習との関連から、英語の歌を掲載しました。(上巻 p.32・33, 下巻 p.28・29)
その他	社会とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ●生活や社会と音楽とのつながりを実感できる教材を掲載しました。(上巻 p.72, 下巻 p.68・69) ●音楽の知的財産権(著作権)に関わるページを含めました。(下巻 p.64・65)
	ICT 機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面上の二次元コードに埋め込まれた URL を読み取ることによって、指導に資する画像などのコンテンツを閲覧することができるようにしました。
	特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家から助言を得て、学習活動文の配置を工夫するとともに、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。 ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けがつきにくい生徒の色覚特性にも配慮した配色にしました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないようにしました。
	文字・印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないように配慮しました。 ●印刷は鮮明で、製本は開きがよく安全で堅牢な「糸中綴じ方式」を採用しました。6本の糸はそれぞれ独立しており、うち1本が損傷しても影響はごく軽微です。

2. 対照表（上巻）

図書の構成		学習指導要領の内容																					
ページ	教材名	歌唱					創作			鑑賞						音楽を形づくっている要素							
		ア	イ		ウ		ア	イ		ア			イ			音色	リズム	速度	旋律	テクニク スチュア	強弱	形式	構成
			(ア)	(イ)	(ア)	(イ)		(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)								
10	夢の世界を	○	○	○	○	○										○	○			○			○
12	リズムゲーム／リズムアンサンブル ／リズムチャレンジ						○		○	○							○						○
14	翼をください	○	○	○	○	○										○				○			○
17, 23	My Voice!	○		○	○											○							
18	夏の思い出	○	○	○	○	○										○	○		○		○	○	
24	荒城の月	○	○	○	○	○												○					
26	夏の日の贈りもの	○	○	○	○	○												○		○			
30	サンタ ルチア	○	○	○	○	○										○			○		○		
32	Joyful Joyful	○	○	○	○	○											○	○	○				
34	メッセージ	○	○	○	○	○												○		○			
36	My Melody						○	○		○							○		○				
38	Let's Create!						○		○	○							○			○		○	
40	●フーガト短調									○	○	○	○	○		○			○		○		
44	●交響曲第5番 八短調									○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	
50	指揮をしてみよう！									○		○	○			○		○		○		○	
52	●「アイーダ」から									○	○	○	○	○		○		○	○				
58	●歌舞伎「勸進帳」									○	○	○	○	○	○	○	○	○					
60	長唄「勸進帳」から	○	○	○	○	○										○		○					
64	●文楽「新版歌祭文」から “野崎村の段”									○	○	○	○	○	○	○		○	○				
66	義太夫節「野崎村の段」から	○	○	○	○	○										○		○					
70	●世界の諸民族の音楽									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
74	やさしさに包まれたなら	○	○	○	○	○										○		○	○				
76	夏は来ぬ	○	○	○	○	○												○	○	○			
78	ふるさと	○	○	○	○	○												○	○	○			
80	ハートのアンテナ	○	○	○	○	○											○	○	○	○			
82	My Own Road - 僕が創る明日 -	○	○	○	○	○												○	○	○		○	
84	未来への旅	○	○	○	○	○												○	○	○		○	
86	大切なもの	○	○	○	○	○										○		○	○	○		○	
88	ぜんぶ	○	○	○	○	○										○		○	○	○		○	
90	時の旅人	○	○	○	○	○										○		○	○	○		○	
94	蛍の光	○	○	○	○	○												○	○	○			
98	国歌「君が代」	○	○	○	○	○												○		○			

2. 対照表（下巻）

図書の構成		学習指導要領の内容																					
ページ	教材名	歌唱				創作			鑑賞						音楽を形づくっている要素								
		ア	イ	ウ		ア	イ	ウ	ア		イ				音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成	
		(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)										
10	花	○	○	○	○	○													○		○		
16	花の街	○	○	○	○	○													○		○		
19	My Voice!	○		○	○														○				
20	早春賦	○	○	○	○	○											○				○	○	○
23	Amazing Grace	○	○	○	○	○													○				
24	帰れソレントへ	○	○	○	○	○												○	○		○		
26	きみとともに	○	○	○	○	○													○		○		
28	Let It Be	○	○	○	○	○												○		○			
30	My Melody						○	○		○									○		○		○
32	Let's Create!						○		○	○									○	○	○		○
34	●ブルタバ（モルダウ）									○	○	○	○	○					○		○		
37	●ボレロ									○	○	○	○	○					○	○		○	○
42	●尺八楽「巢鶴鈴慕」									○	○	○	○	○	○				○				
46	●能「敦盛」									○	○	○	○	○	○				○	○	○		
48	謡「敦盛」から	○	○	○	○	○													○	○	○		
51	●組踊「執心鐘入」									○	○	○	○	○	○				○				
52	●「勸進帳」(能, 文楽, 歌舞伎)									○	○	○	○	○	○				○				
56	●世界の諸民族の音楽									○	○	○	○	○	○				○	○			
58	●ポピュラー音楽									○	○	○	○	○	○				○	○			
66	指揮をしてみよう！	○	○			○													○		○	○	
70	花は咲く	○	○	○	○	○														○			
71	椰子の実	○	○	○	○	○														○		○	
72	ふるさと	○	○	○	○	○														○	○	○	
74	忘れることなんかできない	○	○	○	○	○														○	○	○	○
77	この町が好き	○	○	○	○	○														○	○		○
80	旅立ちの日に	○	○	○	○	○													○		○	○	○
82	春に	○	○	○	○	○												○	○	○	○	○	○
86	大地讃頌	○	○	○	○	○													○		○	○	○
88	揚げば尊し	○	○	○	○	○														○	○	○	○
98	国歌「君が代」	○	○	○	○	○														○		○	